

「JGN II・防災シンポジウム」実施報告書

1 イベント名

イベントー038 JGN II・防災シンポジウム

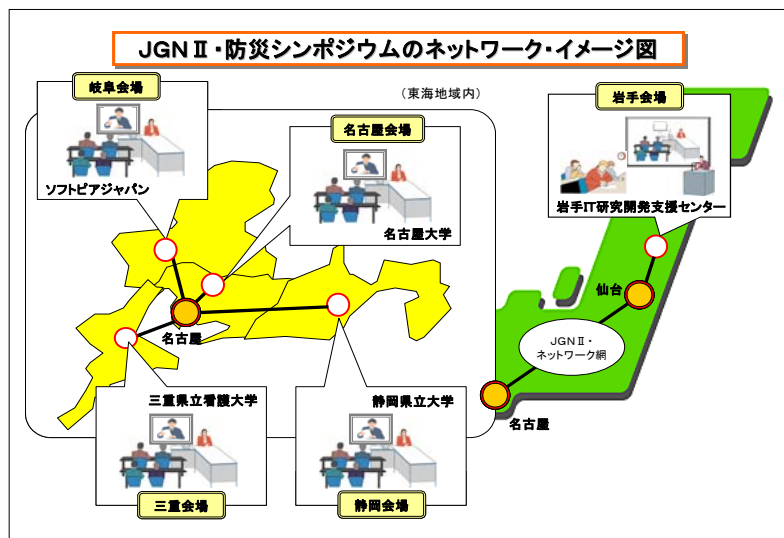
2 イベント概要

(1) 目的

昨年は新潟県中越地震や度重なる台風上陸など大規模な災害が相次ぎ、各地で大きな被害が発生した。被災地においては、安否確認、被害状況の情報収集、住民への情報伝達などを迅速に行う必要があり、このような災害を通じて、改めて通信インフラの確保の重要性が指摘されているところ。

このような状況を受け、本シンポジウムでは、地震防災に関する講演、「防災」の観点から情報通信ネットワークのあり方についてのパネルディスカッション等を行う。

また、本シンポジウムについては、JGN II を用いて5会場を双方向で接続し、各会場の映像・音声をリアルタイムで送受信することにより、シンポジウム参加者に、あたかも同一会場でシンポジウムが行われているかのような臨場感を体感して頂き、JGN II の意義・有用性等を広くPRする。(以下のイメージ図参照)



(2) 日時

平成17年3月15日(火) 13:30~17:30

(3) 主催

東海総合通信局、東海JGN II推進協議会、名古屋大学情報連携基盤センター、静岡県立大学、三重県立看護大学、財団法人ソフトピアジャパン、NPOふじのくに情報ネットワーク機構、岩手県立大学、独立行政法人情報通信研究機構岩手IT研究開発支援センター、東北地方JGN II利用推進協議会

(4) 会場

名古屋会場：名古屋大学 I B 電子情報館 中棟 2 階大講義室（名古屋市千種区不老町）

静岡会場：静岡県立大学 経営情報学部棟 遠隔講義室（静岡市谷田 52-1）

岐阜会場：財団法人ソフトピアジャパン 11 階 映像会議室（大垣市加賀野 4-1-7）

三重会場：三重県立看護大学（津市夢が丘 1-1-1）大学院棟 3 階講義室

岩手会場：独立行政法人情報通信研究機構岩手 I T 研究開発支援センター

プレゼンテーション室（岩手県岩手郡滝沢村滝沢字巣子 152-89）

(5) プログラム等

プログラム

13:30 開会

挨拶：名古屋会場 東海 JGN II 推進協議会 会長 渡邊 豊英 氏（名古屋大学 教授）

岩手会場 岩手 I T 研究開発支援センター センター長 川崎 功 氏

13:45~14:25 講演 I 名古屋会場

テーマ：「地震防災と情報の役割」

講師：東京大学地震研究所教授 山岡 耕春 氏

14:25~15:05 講演 II 岩手会場

テーマ：「東北地区の防災と情報通信の現状」

講師：岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授 柴田 義孝 氏

15:05~15:15 休憩

15:15~17:15 パネルディスカッション

テーマ：「地震と情報通信ネットワーク ～新潟県中越地震に学ぶ～」

コーディネーター：

静岡会場 静岡県立大学経営情報学部教授 鈴木 直義 氏

パネリスト

名古屋会場 東京大学地震研究所教授 山岡 耕春 氏

名古屋大学地震火山防災研究センター教授 鈴木 康弘 氏

名古屋大学情報連携基盤センター助教授 河口 信夫 氏

静岡会場 NPOふじのくに情報ネットワーク機構

理事長 古郡 龍司 氏（静岡インターネット株式会社代表取締役）

望月 茂昭 氏（静岡市総務部情報政策課統括主幹）

岐阜会場 岐阜大学教授 流域圏科学研究センター長 杉戸 真太 氏

岐阜工業高等専門学校建築学科 助教授 柴田 良一 氏

三重会場 三重大学助教授 大学院工学研究科 川口 淳 氏

岩手会場 岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授 柴田 義孝 氏

17:15~17:30 JGN II 利用説明会 名古屋会場

説明者：独立行政法人情報通信研究機構 テストベッド推進室 有田 與幸 氏

17:30 閉会

3 JGN II 利用の概要

(1) 参加機関

今回のシンポジウムでは、シンポジウム会場となった5機関のほかに、映像受信会場として12機関が参加した。具体的な参加機関は以下のとおりである。

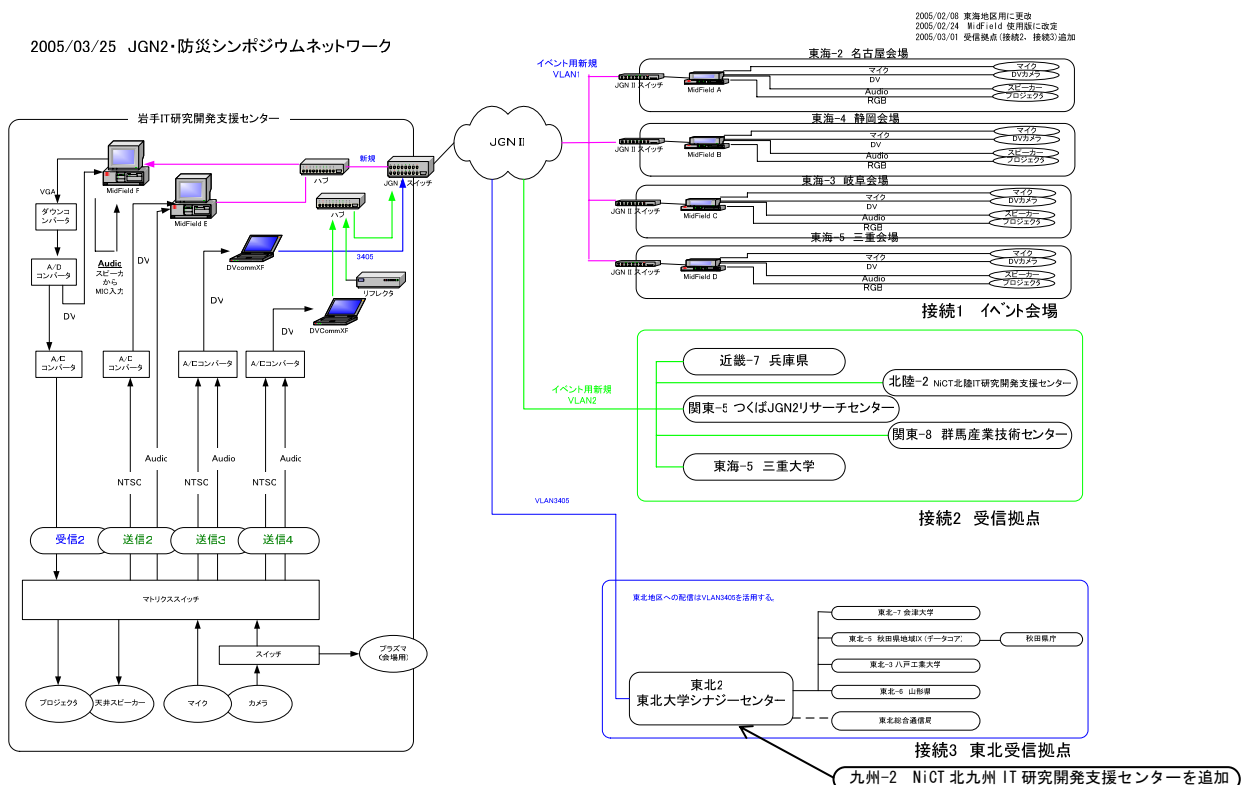
① シンポジウム会場

- ・東北-4 岩手IT研究開発支援センター（岩手会場）
- ・東海-2 名古屋大学情報連携基盤センター（名古屋会場）
- ・東海-3 財団法人ソフトピアジャパン（岐阜会場）
- ・東海-4 静岡県立大学（静岡会場）
- ・東海-5 三重県立看護大学（三重会場）

② 映像受信会場

- ・関東-5 つくばJGN II リサーチセンター
- ・関東-8 群馬産業技術センター
- ・北陸-2 北陸IT研究開発支援センター
- ・東海-5 三重大学
- ・近畿-7 兵庫県西播磨総合庁舎
- ・東北-2 東北大学情報シナジーセンター
- ・東北-3 八戸工業大学
- ・東北-5 秋田県地域IX（データコア）～秋田県庁
- ・東北-6 慶応義塾大学鶴岡タウンキャンパス～山形県庁
- ・東北-7 会津大学情報処理センター
- ・東北総合通信局
- ・九州-2 北九州IT研究開発支援センター

(2) ネットワーク接続概念図



(3) JGN II 利用について

今回のシンポジウムにおけるJGN II 利用については、岩手県立大学、岩手IT研究開発支援センターの全面的なサポートをいただいた。具体的には、ソフトウェアとして「Midfield（開発：岩手県立大学ソフトウェア情報学部・橋本浩二先生）」を使用し、岩手IT研究開発支援センターで5会場の映像を集約し表示用画面として再構成の上、各会場へ送信する形をとった。また、各講師、パネリストが使用するパワーポイント資料については、会場スクリーンに映写したものをカメラで撮影し、送信した。

ネットワーク接続環境の整備・調整については、3月7日（月）～3月11日（金）で各会場の映像、音声等の相互接続試験を実施し、3月14日（月）には本番の接続環境において当日の進行表、パネルディスカッション・シナリオに沿って総合リハーサルを実施して本番に備えた。なお、本番中はチャットを利用して各会場の連絡調整を行い、状況把握に努めた。

4 イベント参加人数

合計227名の参加・視聴があった。詳細については以下のとおりである。

（詳細内訳）

会場名	参加者数	会場名	参加者数
岩手会場	23	岐阜会場	13
名古屋会場	70	三重会場	14
静岡会場	33		

接続機関名	視聴人数	接続機関名	視聴人数
つくばJGN II RC	2	群馬産業技術センター	—
北陸IT研究開発支援センター	4	三重大学	12
兵庫県西播磨総合庁舎	5	東北大学情報シナジーC	1
八戸工業大学	2	秋田県庁	—
山形県庁	10	会津大学情報処理センター	30
東北総合通信局	—	北九州IT研究開発支援C	8

5 実施の評価等

(1) 総括

今回のような5ヶ所の複数拠点から、それぞれパネリストが参加するようなパネルディスカッションは全国的にも開催事例が少なく、取り組みとしては有意義なものであった。また、「東海JGN II 推進協議会」全体の取り組みとして、このような周知・啓発イベントが開催できたことは、東海地域における今後のJGN II の利用促進を図る上でも非常に大きな取り組みであったといえる。また、シンポジウムの開催模様はNHK（名古屋会場）、静岡朝日テレビ（静岡会場）の夕方のニュースでも取り上げられ、一般へのPRについても大きな効

果があった。

(2) 取組み体制

シンポジウム会場はすべてアクセスポイント設置機関であったが、各機関において、より円滑なイベント開催のため適宜必要機材等を自発的にご準備いただき、積極的に進めていただいた。また、当局において年度当初での予算確保が十分でなかったこともあり、講師、パネリストの方々についても、今回のシンポジウムの目的・趣旨に賛同していただいた上で、基本的にはボランティアベースで参加いただいた。

(3) シンポジウム進行等

分散した5会場を結び、さらにコーディネーターとパネリストで10人という大人数であったことから、ある程度の進行管理を行う必要があったため、全体進行表及びパネルディスカッションの大まかなシナリオを準備した。あわせて、岩手IT研究開発支援センターでの画面切替の操作等をスムーズに行うため、その時々画面構成の指定、切り替えのタイミング等も記載した。当日の進行については、ほぼシナリオに基づいた形で進められ事務局、各会場担当者においてはスムーズな進行が可能になったが、パネルディスカッションについては、パネリストの方々から「シナリオはあまり用意しない方が緊張感のあるやりとりができたのではないか」などのご指摘もいただいた。

(4) JGN II 利用（アンケート結果など）

シンポジウム会場において、防災の観点、JGN IIの観点からそれぞれ質問事項を設定してアンケートを実施した。回答数は76件（内訳としては、岩手会場・7件、名古屋会場・45件、静岡会場・13件、岐阜会場・6件、三重会場・5件）。このうち、JGN IIに関しては、以下のような意見・要望等があげられた。

① JGN IIの利用について

ア. 評価すべき点など

「複数の遠隔地を結んだリアルタイムでのシンポジウムの実施」といった点について多数の関心が寄せられた。また、「時間とお金を節約して、全国的なシンポジウムができることは、素晴らしいこと。IT投資に対する効果が一番大きく出てくる分野ではないか。」等の意見もいただき、一定の評価が得られた。また、今回のようなシンポジウムの全国レベルでの開催についての提案も見られた。

イ. 問題点など

音声については「不安定、聞き取りにくい・不明瞭」などの意見が多数寄せられ、各会場レベルでもばらつきがあった。さらに、発言者の話し方、声質等にも配慮し、より聞きやすい環境を整える必要があった。また、「音声と映像が若干ずれる。」との指摘も見られ、これらは今後の課題となった。

映像については、パワーポイントの説明資料が各会場のプロジェクター画面をカメラで撮影して他会場に送信されていたため、見づらいつの意見が多かった。これについても、各会場の映像画面とプレゼン画面を分けるなど、改善していく必要がある。

ウ. その他

その他の意見として、「このようなイベントは、ラジオ、テレビ放送網との連携によって、さらに大きな効果が期待されるのではないか」というご意見などもいただいた。

② JGN IIの制度について

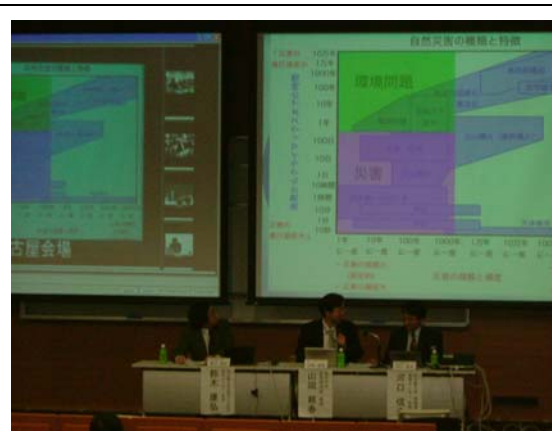
「一般の方への知名度が低い。もっと参加型のイベントを行うべき」等の意見のほか、「高画質映像伝送が可能となるような容量を整備すべき」、「アクセスポイント数の増加、モバイルアクセスポイントの設置」などの要望が寄せられた。

6 開催模様

【岩手会場】



【名古屋会場】



【静岡会場】



【岐阜会場】



【三重会場】

